

令和 2 年度

事 業 報 告 書

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 ソフトテニス競技規則等の制定事業	1
2 全日本ソフトテニス選手権大会等開催	1
3 地域ソフトテニス大会支援	1
4 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援	1～2
5 ソフトテニスの広報活動	2
6 各種資格等の制度推進と認定	2
7 各種表彰、顕彰事業	2
8 用具・用品・施設の公認	2～3
9 傷害補償制度	3
10 競技人口の増加対策	3
11 医科学研究事業	3
12 アンチ・ドーピング活動の推進	3
13 加盟団体会長会議について	3

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 競技力向上	3～4
2 指導者育成	4

III. ソフトテニスの国際振興事業

1 ソフトテニスの国際振興	4
---------------	---

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

I. 組織と財政の強化	5
1 青少年の健全育成と環境教育	5
2 暴力根絶の徹底	5
3 スポーツ団体のガバナンスコードについて	5
4 会員登録制度の推進	5
5 財政基盤の確立	5
6 長期基本計画の推進	5
7 テニスコート造成について	5

(庶務事項)

1 会議等の開催に関する事項	6
2 役員・事務局職員等に関する事項	6
3 会員登録に関する事項	6
4 分担金に関する事項	6
5 補助金・助成金等に関する事項	6
6 寄付金・協賛金に関する事項	6
7 傷害補償制度の給付金に関する事項	6

別表 1～36	7～23
---------	------

令和 2 年度事業報告書

ソフトテニスの普及振興、国民の心身の健全な発展への寄与を目的とし、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」に係わる事業を積極的かつ効果的に実施した。「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定し、大会・イベント等の再開など事業を推進した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則の制定

競技規則、審判規則等を一部改定し、令和 3 年 4 月 1 日発行のハンドブックに掲載することとした。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じ、開催可能と判断できた下記の主催・共催大会を実施要項に基づき実施した。(別表 1)

- ・第 34 回 日本実業団リーグ
- ・第 27 回 全日本クラブ選手権大会
- ・第 38 回 日本リーグ
- ・日本リーグ入替戦
- ・第 1 回 平和カップひろしま国際大会
- ・第 46 回 全日本高校選抜大会
- ・第 20 回 全国小学生大会

(2) ハンドブックを改訂することにより、大会開催施設基準をより明確化し、大会運営の改善を図ることとした。また、コロナ対策として、無観客、入場者数の制限や対戦における各種施策を実施した。

(3) 大会ドロー編成を非対面に対応できるよう、専用のソフトウェアを開発した。

(4) 日本リーグ専用ページを開設し、選手紹介やライブ配信を行った。

(5) 円滑な競技運営のため、各加盟団体の競技委員長より意見を収集し、今後の運営を検討していくこととした。

(6) 日本スポーツ振興センターより助成金を受けて大会を実施した。

第 38 回日本リーグ 助成金 858,000 円

3. 地域ソフトテニス大会支援

地域等における競技会開催に補助を実施した。(別表 2)

4. 加盟団体が行うソフトテニス競技力向上と普及振興支援

(1) 地域クラブ、ジュニアクラブ等への育成および運営支援のための会員登録料還元を実施した。会員登録料より、一般 20%、大学 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%の率で、各加盟団体に助成した。

(2) 各加盟団体事業を推進するための支援として補助金を交付した。新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止により補助金交付対象とならなかった加盟団体もあった。

- ・小学生大会への補助(40 支部)
- ・中学生大会への補助(37 支部)
- ・ソフトテニス週間の実施と補助(34 支部)
- ・ソフトテニス愛好者増加対策事業への補助(41 支部)
- ・ナショナルチーム派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(3)新型コロナウイルス感染症の影響による支部小学生・中学生大会が中止の為、都府県内やブロックでの小中学生対象大会に対して、特別補助金を交付した。

- ・小学生大会への補助(22 件)
- ・中学生大会への補助(13 件)
- ・地区大会への補助(5 件)

5. ソフトテニスの広報活動

(1)天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、NHK 放映は実施できなかった。

(2)全国各地の大会情報を共有できるようホームページに投稿できるシステムを開発した。

(3)YouTube チャンネル、Twitter、Instagram を開設し SNS を活用した即時性のある情報発信を実施した。

- ・過去大会等の配信
- ・ナショナルチーム合宿、日本リーグ、日本リーグ入替戦の YouTube ライブ配信を実施した。
- ・「ソフトテニスにメジャーにしたいんや」を全 6 回配信、「朝日奈央キラめきスポーツ」を 2 回放送が実現した。
- ・日刊スポーツ新聞にナショナルチーム選手の紹介、地域クラブの紹介、安道会長インタビュー記事、大会結果記事等の掲載をした。

(4)機関誌を毎月1回発行し、会員報、ホームページでの情報掲載の推進を図った。

機関誌購読者数	支部購読	999 名、個人購読 110 名
(前年度	支部購読	1,068 名、個人購読 151 名)

6. 各種資格等の制度推進と認定

(1)技術等級および指導等級制度に基づいた認定を行った。(別表 3)

(2)審判員制度に基づいた資格認定を行った。(別表 4)

(3)1 級審判員新規認定の検定会および更新認定のブロック別研修会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。(別表 5)

(4)ソフトテニスハンドブック・採点表等を販売した。(別表 6)

(5)(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度で定められた指導者養成を行った。

7. 各種表彰、顕彰事業

(1)新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止となり、令和 2 年度のランキングの表彰は実施しなかった。

(2)実施された大会については規程どおりに表彰を行った。

(3)本部功労及び各支部から推薦の功労者・優良団体の表彰を行った。(別表 35)

- ・本部功労者 1 名
- ・支部功労者 88 名
- ・優良団体 38 団体

8. 用具・用品・施設の公認

愛好者・競技者が安全で快適にプレーできるように、公認基準の見直し、幅広い年齢層にも対応可能な基準づくりに努めてきた。

(1) 公認事業者の新規公認

事業者名:(株)カスミ 用具用品:ネット

(2) 公認事業者の退会(令和3年3月31日付)

事業者名:アディダスジャパン(株) 用具用品:ユニフォーム、シューズ

事業者名:(株)ニューバランスジャパン 用具用品:ユニフォーム

事業者名:(株)ディーエムアール 用具用品:ユニフォーム、シューズ

(3) 公認事業者の更新

令和2年度公認事業者一覧は〈別表7〉のとおり。

(4) ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。〈別表8〉

9. 傷害補償制度

制度の周知方法及びより利用されやすい制度について検討した。

令和2年度の給付金対象については〈別表30〉のとおり。

10. 競技人口の増加対策

中学生、高校生、大学生も含む会員増加に繋げる対策を各部会および会員登録委員会にて検討した。

11. 医科学研究事業

(1) コロナ禍での「ソフトテニスの練習における留意点」を作成し、ホームページ等で掲載し周知した。

(2) 第3回トレーナー研修会をオンライン形式で実施した。

期日:令和3年3月21日(日) 13:00～17:00

参加者:32名

(3) 医科学研究報告書を作成した。

12. アンチ・ドーピング活動の推進

(1) アウトリーチの実施

教育・啓発活動のひとつとして日本実業団リーグ会場でアウトリーチ活動を行った。

(2) アンチ・ドーピング教育活動の実施

ナショナルチーム男女強化合宿において、アンチ・ドーピング教育活動を行った。

13. 加盟団体会長会議の開催について

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。令和3年度開催に変更し、ソフトテニスを取り巻く諸課題に関する情報交換、意見交換を行い、ソフトテニス振興策を検討する。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、強化合宿や海外大会への派遣が中止となった。次年度は延期となった第9回アジアソフトテニス選手権でのアジアNo.1を目指すための活動を中心とした強化事業を推進する。あわせて、将来の日本を代表する選手の発掘育成のための競技者育成プログラムの推進、選手育成に不可欠な指導者育成に関する事業を実施する。

1. 競技力向上事業

(1) 競技者育成プログラムの推進

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、Step-1 から Step-4 の開催を中止した。〈別表 9〉
- ②2021 年度の Step-1 から Step-5 の開催方法等について検討し、一部を変更して実施することとした。
- (2)強化合宿の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿開催はナショナルチーム男子、女子の 2 カテゴリーのみとなった。〈別表 10〉
- (3)国際大会等、海外への選手等の派遣

新型コロナウイルス感染症の影響で大会中止となった。
- (4)強化スタッフの大会視察派遣

2 大会(日本リーグ、高校選抜)にスタッフを大会視察に派遣した。〈別表 11〉
- (5)アンチ・ドーピング教育の推進

ナショナルチーム男女強化合宿のみアンチ・ドーピング講義を実施。その他のカテゴリーの合宿は中止となった為、次年度に実施することとした。
- (6)情報収集および分析結果の活用

対象となる大会等の中止により次年度に実施することとした。
- (7)医科学研究の活用

医科学研究報告書を作成し、競技力向上および普及振興事業に活用するべく加盟団体・関係各位へ配布した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1)指導者養成事業

- ①コーチ 2(旧上級指導員)養成マニュアル改訂について検討した。
- ②運動部活動改革に対応するソフトテニス指導者バンクの活用について検討した。
- ③ジュニア指導教本改訂に向けた検討を実施した。
- ④コーチ 1(旧指導員)養成講習会(専門科目)が下記の都道府県で開催された。

東京都、北海道、岩手県、秋田県、福島県、兵庫県、福岡県、大分県
- ⑤コーチ 2(旧上級指導員)の養成講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止により(公財)日本スポーツ協会が開催を中止した。
- ⑥コーチ 3(旧コーチ)の養成講習会(専門科目)は、前期日程は終了したが、新型コロナウイルス感染拡大により後期日程を中止した。受講者には、令和 4 年度実施予定の養成講習会(専門科目)後期日程の受講を案内した。

(公財)日本スポーツ協会の委託事業委託金 441,660 円
- ⑦コーチ 1(旧指導員)専門学校対象講習会(専門科目)を下記会場で実施した。

履正社スポーツ専門学校
- (2)全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

- (1)新型コロナウイルス感染症の影響により、指導者派遣や選手交流などは実施できなかった。
- (2)IF会議(リモート)に参加し、IFの課題を協議した。
- (3)新型コロナウイルス感染症の影響により、補助の実施はなかった。
- (4)企画委員会と合同で 2040 年オリンピック参入を目指す未来構想について、今後の取組などを検討した。

【各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策】

1. 青少年の健全育成および環境への取り組み

(1) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

指導者研修会等の中止により、スポーツマンとしての倫理教育等を実施する機会がなかった。

(2) 環境問題への取組

①環境保全の在り方、3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動の促進について検討した。

②日本オリンピック委員会発行の「JOC スポーツ環境専門部会活動報告書」にソフトテニスの取り組みを掲載した。

(3) マナーBOOK の普及方法

ハンドブックに掲載するための抜粋版を作成し、令和3年度発行分より掲載することとした。

2. 暴力根絶の徹底

「公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り、暴力の根絶に向けた推進を行っている。

3. スポーツ団体ガバナンスコードについて

令和2年度スポーツ団体ガバナンスコード自己説明について作成し、ホームページに掲載し公開するとともに、自己説明・公表の実施報告書を統括団体に提出した。

4. 会員登録制度の推進

(1)登録人数の推移等、登録状況を精査し今後の対策を協議した。

(2)新たな登録システムを検討した。

(3)会員証については、次年度以降のマイページ新設に伴い、令和2年度で発行を終了した。

5. 財政基盤の確立

財政基盤の確立のため財務委員会を新設した。

6. 長期基本計画 2017(2017年度～2021年度)の推進

(1)計画を着実に推進するとともに、その状況について検証・評価を行い、報告をした。

(2)中期、長期に分けた次期の基本計画のうち、長期基本計画骨子案作成に取りかかった。

7. テニスコート造成について

ソフトテニスの普及振興および競技力向上の拠点とするべく、平成25年からの計画であった資産(テニスコート)として福島県東白川郡棚倉町の「リゾートスポーツプラザ ルネサンス棚倉」内のハードコート12面の敷地を令和元年度に購入し、令和2年度において造成工事を開始した。

〔庶務事項〕

1. 会議等の開催に関する事項

- (1) 評議員会〈別表 12〉
- (2) 理事会〈別表 13〉
- (3) 運営会議〈別表 14〉
- (4) 業務執行理事会〈別表 15〉
- (5) 専門委員会〈別表 16〉
- (6) 役員選考委員会〈別表 17〉
- (7) 会計監査〈別表 18〉

2. 役員・事務局職員等に関する事項 〈別冊:役員・職員等名簿〉

3. 会員登録に関する事項

会員登録数は〈別表 19〉のとおり。

4. 分担金に関する事項

- (1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円
- (2) 会員登録料は〈別表 20〉のとおり。
- (3) 維持会費
 - ア. 公認メーカー 32 社:延 48 社 (前年度 48 社)〈別表 21〉
 - イ. 施設業者 7 社:延 8 社 (前年度 8 社)〈別表 22〉
 - ウ. 一般 56 件 計 770,000 円 (前年度 78 件 計 1,040,000 円)〈別表 23〉

5. 補助金・助成金等に関する事項

- (1) 補助金 合計額 9,535,757 円 (前年度 12,355,503 円)〈別表 24〉
- (2) 助成金 合計額 1,389,500 円 (前年度 58,801,350 円)〈別表 25〉
- (3) 交付金 合計額 3,649,000 円 (前年度 9,366,400 円)〈別表 26〉
- (4) 委託金 合計額 441,660 円 (前年度 1,244,270 円)〈別表 27〉

6. 協賛金・寄付金に関する事項

- (1) 協賛金 合計額 2,500,000 円 (前年度 45,250,000 円)〈別表 28〉
- (2) 寄付金 合計額 100,000 円 (前年度 0 円)〈別表 29〉

7. 傷害補償制度の給付金に関する事項

25 件、1,004,000 円を給付した。(前年度 37 件 1,188,000 円)〈別表 30〉

〈別表 1〉

主催大会	開催地	日程
第9回 アジア選手権大会日本代表予選会	三重県四日市市	中止
第27回 全日本シングルス選手権大会	石川県金沢市	中止
第1回 全日本ミックスダブルス選手権大会	大分県大分市	中止
男子第65回・女子第64回 全日本実業団選手権大会	三重県鈴鹿市	中止
第37回 全日本小学生選手権大会	福岡県福岡市他	中止
第48回 全日本社会人選手権大会	滋賀県長浜市	中止
JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第26回全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	中止
第24回 全日本シニア選手権大会	岡山県備前市他	中止
第75回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	愛知県一宮市	中止
第34回日本実業団リーグ	京都府福知山市	令和2年10月30日(金)～11月1日(日)
第27回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	令和2年10月31日(土)・11月1日(日)
第38回日本リーグ	愛知県豊田市	令和2年12月8日(木)～12月12日(日)
日本リーグ入替戦	広島県福山市	令和2年12月26日(土)～12月27日(日)
第66回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	中止

スポーツ拠点化事業	開催地	日程
第15回 ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	中止
第32回都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	中止
第20回全国小学生大会	千葉県白子町	令和3年3月29日(月)～3月31日(水)

共催大会	開催地	日程
第49回ハイスchoolジャパンカップ	北海道札幌市	中止
西日本シニア選手権大会	香川県高松市他	中止
第75回東日本選手権大会	北海道札幌市他	中止
第74回西日本選手権大会	徳島県徳島市	中止
全日本高校選手権大会(男子)	京都府福知山市	中止
全日本高校選手権大会(女子)	京都府福知山市	中止
第47回全日本レディース大会(個人戦)	山口県宇部市	中止
全日本学生選手権大会	石川県能都町他	中止
第51回全国中学校大会	静岡県浜松市	中止
第42回全日本レディース決勝大会(団体戦)	愛知県一宮市	中止
日本スポーツマスターズ2020	愛媛県今治市	中止
第75回 国民体育大会	鹿児島県鹿児島市	延期
第1回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市	令和3年3月13日(土)・14(日)
第46回全日本高校選抜大会	愛知県豊田市	令和2年3月28日(土)～3月30日(月)

国際大会	開催地	日程
第28回日・韓・中ジュニア交流競技大会	日本・秋田県	中止
第9回 アジア選手権大会	タイ・チェンマイ	延期
その他	開催地	日程
第33回ねりんピック2020	岐阜県瑞穂市他	中止

(注)大会参加者数は〈別表 31〉に掲載

〈別表 2〉

地域等における競技会開催補助

事業名	補助金額
地区高校選抜大会	9 地区×100,000 円
地区中学選手権大会	1 地区×100,000 円

〈別表 3〉

技術等級認定者数

(数値:名)

等級	名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	計
令和 2 年度	0	0	10	1	110	0	137	720	502	1,906	3,386
令和元年度	0	1	84	11	362	17	300	1,246	1,540	2,934	6,495

(注)令和 2 年度都道府県別認定者数は 〈別表 32〉に掲載

〈別表 4〉

公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
マスターレフェリー		60	78	60	40	58	41
マスターアンパイヤー		70	62	72	87	62	80
1 級		284	282	235	284	223	258
2 級	新規(一般・高校)	18,392	19,274	18,488	17,421	16,689	11,455
	更新(一般)	5,569	5,051	5,490	5,036	5,274	5,361
	移行(高校)	7,759	8,069	8,193	8,606	8,149	7,461
ジュニア		39,321	40,171	35,524	36,721	36,068	24,594
計		71,455	72,987	68,062	68,195	66,523	49,250

(注)令和 2 年度都道府県別認定者数は 〈別表 33〉に掲載

〈別表 5〉

1 級審判員の検定会・研修会

	実施期日	会 場	参加者
検定会	令和 3 年 1 月 9 日(土),10 日(日)	東京都・大森スポーツセンター	中止
	令和 3 年 2 月 13 日(土),14 日(日)	愛媛県・今治市営スポーツパーク	中止
研修会	令和 3 年 1 月 24 日(日)	福岡県・博多の森テニス競技場	中止
	令和 3 年 1 月 24 日(日)	山口県・周南市学び交流プラザ	中止
	令和 3 年 1 月 31 日(日)	徳島県・徳島市B&G海洋センター	中止
	令和 3 年 2 月 7 日(日)	富山県・西部体育センター	中止
	令和 3 年 2 月 11 日(木・祝)	青森県・マエダアリーナ	中止
	令和 3 年 2 月 21 日(日)	三重県・鈴鹿市立江島体育館	中止
	令和 3 年 2 月 23 日(火・祝)	神奈川県・大和スポーツセンター体育館	中止
	令和 3 年 2 月 27 日(土)	和歌山県・県立体育館	中止

(別表 6)

ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等

(数値:冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエローカード等	ジュニア審判 マニュアル
令和 2 年度	13,841	2,427	268	13,841	24,900
令和元年度	25,589	3,766	1,007	25,589	40,725

(別表 7)

公認事業者名(用具用品)

	対象	公認メーカー
用具用品	ラケット 7 社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライド・アルペン
	ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
	ネット 10 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
	ストリング 4 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
	ユニフォーム 12 社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・ディーエムアール・プーマジャパン
	シューズ 12 社	アシックスジャパン・ヨネックス・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライド・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング・アルペン
施設・製造	砂入り人工芝 製造業者 7 社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
	人工クレート 製造業者 1 社	大塚ターフテック

(別表 8)

ラケットの証紙およびネット証布の発行

(数値:枚)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ラケット証紙	429,345	359,560	378,710	314,180	333,465	237,580
ネット証布	2,650	2,700	3,000	2,150	3,030	2,200

(別表 9)

競技者育成プログラム Step-3

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	府県別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/28~8/30	開催中止						
関 東 (山 梨 県・笛 吹 市)	8/28~8/30							
北 信 越 (富 山 県・高 岡 市)	8/28~8/30							
東 海 (三 重 県・四 日 市 市)	8/28~8/30							
近 畿 (和 歌 山 県・和 歌 山 市)	8/28~8/30							
中 国 (広 島 県・三 次 市)	8/28~8/30							
四 国 (愛 媛 県・今 治 市)	8/28~8/30							
九 州 (熊 本 県・熊 本 市)	8/28~8/30							
合 計								

〈別表 10〉

(1) 日本代表チームおよびナショナルチーム(男子・女子)強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
ナショナル	男子	1☆	令和2年11月10日(火)～13日(金)	3	18	広島県・福山市
	女子	1☆	令和2年11月17日(火)～20日(金)	3	15	広島県・福山市

(2) 全日本U-14.U-17.U-20(男子、女子)強化合宿

新型コロナウイルス感染拡大の影響で全カテゴリー中止

(注1) ☆印は(公財)日本オリンピック委員会の補助事業である。(2,189,000 円)

〈別表 11〉

強化委員・強化スタッフの大会視察派遣(敬称略)

大 会 名	派 遣 者
日本リーグ	斉藤広宣
全日本高校選抜大会	北本英幸、佐藤英宣

〈別表 12〉

評議員会

会議名	期日	会場
定時評議委員会	令和2年6月28日(日)	アワーズイン阪急 ツイン館4階 第1・第2会議室
臨時評議委員会	令和2年12月6日(日)	大森東急 REI ホテル 5階「フォレストルーム」

〈別表 13〉

理事会

会議名	期日	会場
第1回理事会	令和2年4月13日(月)	決議の省略
第2回理事会	令和2年5月1日(金)	決議の省略
第3回理事会	令和2年5月11日(月)	決議の省略
第4回理事会	令和2年6月2日(火)	決議の省略
第5回理事会	令和2年6月12日(金)	決議の省略
第6回理事会	令和2年6月28日(日)	アワーズイン阪急 ツイン館4階 第6会議室
第7回理事会	令和2年7月26日(日)	ルネサンス棚倉内会議室
第8回理事会	令和2年9月12日(土)	ワタキューセイモア(株) 5階会議室
第9回理事会	令和2年11月7日(土)	アワーズイン阪急 ツイン館 4F 第2会議室
第10回理事会	令和2年12月5日(土)	大森 東急 REI ホテル 5階「メープル ルーム」
第11回理事会	令和3年2月20日(土)	リモート会議(Cisco Webex)

〈別表 14〉

運営会議

回数	期日	会場
第1回	令和2年9月12日(土)	ワタキューセイモア(株) 5階会議室
第2回	令和2年11月7日(土)	アワーズイン阪急 ツイン館第2会議室
第3回	令和2年12月4日(金)	アワーズイン阪急 ツイン館第6会議室
第4回	令和3年2月11日(木)	リモート会議(Cisco Webex)

〈別表 15〉

業務執行理事会議

回数	期日	会場
第 1 回	令和 2 年 6 月 6 日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 2 回	令和 2 年 9 月 11 日(金)	ワタキューセイモア株式会社 8 階役員室
第 3 回	令和 2 年 11 月 2 日(月)	ワタキューセイモア株式会社 3 階会議室
第 4 回	令和 2 年 12 月 4 日(金)	アワーズイン阪急 ツイン館 第 6 会議室
第 5 回	令和 3 年 2 月 11 日(木)	リモート会議(Cisco Webex)

〈別表 16〉

委員会・部会	開催日					
総務委員会	9/12					
企画委員会	10/17	10/18	2/11	2/23		
企画委員会分科会	11/15	12/19	3/3			
財務委員会	11/1	2/27				
審判委員会	11/14					
競技委員会						
プログラム編成部会	9/26	2/27				
等級制度部会	11/4					
強化委員会	9/12	2/11	2/21	2/23		
強化スタッフ部会	2/21	2/23				
競技者育成プログラム部会	11/23					
指導者育成委員会	10/10	2/6				
生涯スポーツ委員会	10/18					
小学生部会	10/18					
シニア部会						
広報委員会	4/25	10/24	1/30			
機関誌部会	4/6	7/6	10/5	11/2	12/1	1/7
	2/1	3/2				
会員登録委員会	1/23					
中学生部会	11/21	1/23				
高校生部会	1/23					
大学生部会	10/24	1/23				
国際委員会	10/18	2/11	2/23			
医科学委員会	10/25	2/21				
医学部会	12/21					
アンチ・ドーピング部会	9/22	12/9	1/27			
トレーナー部会	10/11	10/18	1/9	1/23		
スポーツ科学部会						
ICT システム委員会	11/3	3/20				
環境・教育委員会	10/11					
用具・用品・施設委員会	3/27					
危機管理委員会	8/22	9/26	10/10	10/25	2/13	2/14
	3/21					

〈別表 17〉

役員選考委員会

会議名	期日	会場
役員選考委員会	令和 2 年 6 月 19 日(金)	書面決議

〈別表 18〉
会計監査

対象	期日	会場
公認会計士 監査	令和 2 年 5 月 11 日	リモート
	令和 3 年 1 月 14 日	リモート
日本連盟監事 監査	令和 2 年 6 月 7 日	(公財)日本ソフトテニス連盟事務局会議室

〈別表 19〉
会員登録数(10 年間の推移)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和2年度	10,763	40,388	15,163	169,625	62,730	702	6,408	305,779
令和元年度	11,713	44,799	18,101	247,103	79,834	933	7,591	410,074
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900

(注)都道府県別会員数は 〈別表 34〉に掲載。

〈別表 20〉
会員登録料 (単位:円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和 2 年度	10,763,000	40,388,000	7,581,500	84,812,500	31,365,000	351,000	3,204,000	178,465,000
令和元年度	11,713,000	44,799,000	9,050,500	123,551,500	39,917,000	466,500	3,795,500	233,293,000

〈別表 21〉
維持会費 公認メーカー32 社:延 48 社(前年度 48 社) (単位:円)

	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
令和 2 年度	7 社	3 社	10 社	4 社	12 社	12 社
	700,000	8,280,000	1,000,000	2,640,000	13,920,000	5,760,000
令和元年度	7 社	3 社	9 社	5 社	12 社	12 社
	700,000	8,280,000	900,000	3,300,000	13,920,000	5,760,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 7 社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライド・アルペン
ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 10 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
ストリング 4 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
ユニフォーム 12 社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・ディーエムアール・プーマジャパン
シューズ 12 社	アシックスジャパン・ヨネックス・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライド・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング・アルペン

(別表 22)

維持会費 施設業者 7 社:延べ 8 社(前年度 8 社)

(単位:円)

年 度	砂入り人工芝		人工クレーコート	
令和 2 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000
令和元年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業 者 名
砂入り人工芝製造業者 7 社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック・東レアムテックス・ダイヤテックス・大 嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート製造業者 1 社	大塚ターフテック

(別表 23)

維持会費 一般 56 件 計 770,000 円 (前年度 78 件 計 1,040,000 円)

(単位:円) (敬称略)

50,000	安道光二	京都	内田昌一	京都				
30,000	笠井達夫	神奈川	愛知県連盟		(株)ゴーセン			
20,000	静岡県連盟		共和(株)		(株)トーカイ		星野 博	東京
	笛岡宣明	愛知	明宏印刷(株)		三田倶楽部			
10,000	天野晴夫	三重	安藤 清	岐阜	安藤正美	香川	石川雅利	千葉
	井上光子	千葉	今井誠則	広島	上山親子	大阪	運上琢論	北海道
	大房裕司	中体連	大前秀樹	広島	小川信也	岐阜	越智克昌	愛媛
	小野尚彦	岡山	小原信幸	岡山	加藤育広	秋田	金岡昭房	宮城
	川西 斎	奈良	神崎公宏	三重	北村和久	三重	木原晴彦	広島
	小林 正	静岡	佐藤栄一	群馬	佐藤健司	東京	白水厚二	大分
	鈴木正彦	群馬	玉木 進	東京	丹崎健一	東京	津田 誠	愛知
	栃木県連盟		長岡敏久	埼玉	中村 進	埼玉	西村信寛	東京
	原 雅幸	長野	堀越 浩	千葉	本田茂雄	宮城	宮下恭子	大阪
	宮田 勤	岩手	森田賢二	兵庫	柳下秋久	東京	山下晴海	埼玉
	山本 毅	京都	横山隆二	東京	吉田博紀	熊本	萬 正一	秋田

(別表 24)

補助金 合計額 9,535,757 円 (前年度 12,355,503 円)

(単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	2,189,000
スポーツ庁	スポーツイベントの再開支援事業	6,046,757
(公財)日本スポーツ協会	スポーツ事業継続支援	1,000,000
日本ラケット工業協同組合	大会再開支援	300,000

〈別表 25〉

助成金 合計額 1,389,500 円 (前年度 58,801,350 円) (単位:円)

(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
	競技会開催(日本リーグ) ※新型コロナウイルス感染症の影響により事業変更	858,000
	小計	858,000
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
	ドーピング防止啓発活動推進	482,000
	小計	482,000
鹿児島国体実行委員会	国民体育大会役員旅費 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
(公財)ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
	ナショナルチームチャンピオンズマッチ ※新型コロナウイルス感染症の影響による中止のため一部対象	49,500
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0

〈別表 26〉

交付金 合計額 3,649,000 円 (前年度 9,366,400 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	3,649,000
	JOC ジュニア選手強化交付金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0

〈別表 27〉

委託金 合計額 441,660 円 (前年度 1,244,270 円) (単位:円)

(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
(公財)日本スポーツ協会	公認コーチ 3 養成講習会専門科目講習会委託金	441,660

〈別表 28〉

協賛金 合計額 2,500,000 円 (前年度 45,250,000 円) (単位:円)

(株)ゴーセン ストリングオフィシャルサプライヤー協賛金	1,500,000
(株)カスミ ネット新規公認	1,000,000

〈別表 29〉

寄付金 合計額 100,000 円 (前年度 0 円) (単位:円)

(株)ゴーセン ソフトテニス振興事業	100,000
--------------------	---------

〈別表 30〉

傷害補償制度の給付金対象件数

25 件、1,004,000 円を給付した。(前年度:37 件 1,188,000 円)

(単位:件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
令和 2 年度	4	8	2	2	4	5	0	25
令和元年度	9	7	6	3	2	10	0	37

〈内訳〉

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	3						3
骨折	5			1	2	1	9
靱帯損傷・断裂		2					2
肉離れ	3						3
捻挫	1			1		1	3
その他	4			1			5
死亡							0
計	16	2		3	2	2	25

〈別表31〉

大会一覧表

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
5	5・6	第9回アジア選手権大会日本代表予選会	男子ダブルス	三重県四日市市	中止
			女子ダブルス	四日市テニスセンター	
			小計		
	16・17	第27回 全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	石川県金沢市	中止
			女子シングルス	西部緑地公園テニスコート	
金沢市城北市民テニスコート					
小計		0			
6	20・21	第1回全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会	一般	大分県大分市	中止
			35歳	大洲総合運動公園テニスコート	
			45歳	昭和電工テニスコート	
			50歳		
			55歳		
			60歳		
			65歳		
			70歳		
			小計		
	24~28	第49回 ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市	中止
			女子ダブルス	円山庭球場	
			男子シングルス		
			女子シングルス		
			小計		
	4・5	西日本シニア選手権大会	シニア男50	香川県高松市他	中止
			シニア女50	丸亀市総合運動公園テニスコート	
			シニア男55	高松市亀水運動センターテニスコート	
			シニア女55	香川県総合運動公園 県営テニス場	
			シニア男60		
			シニア女60		
			シニア男65		
			シニア女65		
			シニア男70		
			シニア女70		
			シニア男75		
			シニア女75		
			シニア男80		
			シニア女80		
			小計		
7	第74回 西日本選手権大会	一般男子	徳島県徳島市	中止	
		一般女子	大神子病院しあわせの里テニスセンター		
		男子35	JAバンクテニスプラザ・蔵本コート		
		女子35	徳島大学医学部テニスコート		
		男子45			
		女子45			
		小計			0
18・19	第75回 東日本選手権大会	一般男子	北海道札幌市他	中止	
		一般女子	北海道立野幌総合運動公園テニスコート		
		男子35	札幌市円山庭球場		
		女子35	千歳市青葉公園テニスコート		
		男子45	苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場		
		女子45			

7	18・19	第75回 東日本選手権大会	シニア男50		中止							
			シニア女50									
			シニア男55									
			シニア女55									
			シニア男60									
			シニア女60									
			シニア男65									
			シニア女65									
			シニア男70									
			シニア女70									
			シニア男75									
			シニア女75									
			シニア男80									
			シニア女80									
			小計			0						
21～23	第47回 全日本レディース大会(個人戦)	ふじ(初心者)	山口県宇部市	中止								
		すみれ(満18歳以上)	宇部市中央公園テニスコート									
		ばら(35歳以上)	維新百年記念公園テニス場									
		ゆり(45歳以上)	キリンビバレッジ周南庭球場									
		きく(55歳以上)	向島運動公園テニスコート									
		あやめ(60歳以上)										
		はぎ(65歳以上)										
		さつき(70歳以上)										
		さくら(75歳以上)										
		もも(80歳以上)										
		小計			0							
		5～12	全日本高校選手権大会		男子個人	京都府福知山市	中止					
					男子団体	福知山三段池公園テニスコート						
					女子個人							
					女子団体							
小計				0								
5～10	全日本学生選手権大会 第75回文部科学大臣杯(大学対抗) 第75回三笠宮賜杯(ダブルス) 第63回全日本学生シングルス選手権大会			男子大学対抗	石川県能登町他	中止						
				女子大学対抗	県立能都健民テニスコートほか							
				男子ダブルス								
				女子ダブルス								
				男子シングルス								
				女子シングルス								
				小計				0				
				8	8～10			男子第65回・女子第64回 全日本実業団選手権大会	男子団体	三重県鈴鹿市	中止	
									女子団体	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 テニスコート		
										鈴鹿市立テニスコート		
		小計					0					
		13～16	第37回 全日本小学生選手権大会				男子団体		福岡県福岡市	中止		
							女子団体		博多の森テニス競技場			
							男子ダブルス		志免町総合公園テニスコート			
							女子ダブルス					
小計						0						
18～20	第51回全国中学校大会					男子個人	静岡県浜松市		中止			
						女子個人	花川運動公園テニスコート					
						男子団体						
						女子団体						
						小計						0
						27～29	第42回 全日本レディース決勝大会 (団体戦)					都道府県対抗

9	5・6	第48回 全日本社会人選手権大会	一般男子ダブルス	滋賀県長浜市	中止	
			一般女子ダブルス	長浜市民庭球場		
			男子ダブルス35	近江母の郷		
			女子ダブルス35	浅井文化スポーツ公園		
			男子ダブルス45	滋賀県立長浜バイオ大学ドーム		
			女子ダブルス45			
			小計			0
	19・20	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第27回全日本ジュニア選手権大会	男子シングルス(U-14)	広島県広島市	中止	
			女子シングルス(U-14)	広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)		
			男子シングルス(U-17)	広島市中央バレーボール場		
			女子シングルス(U-17)			
			男子シングルス(U-20)			
			女子シングルス(U-20)			
			男子ダブルス(U-14)			
			女子ダブルス(U-14)			
			男子ダブルス(U-17)			
			女子ダブルス(U-17)			
			男子ダブルス(U-20)			
			女子ダブルス(U-20)			
			小計			0
			26・27	第24回 全日本シニア選手権大会		男子ダブルス50
	女子ダブルス50	岡山県備前テニスセンター				
	男子ダブルス55	岡山県総合グラウンド南テニスコート				
	女子ダブルス55	浦安総合公園テニスコート				
	男子ダブルス60					
	女子ダブルス60					
	男子ダブルス65					
	女子ダブルス65					
	男子ダブルス70					
	女子ダブルス70					
	男子ダブルス75					
	女子ダブルス75					
	男子ダブルス80					
	女子ダブルス80					
	混合 ダブルス50					
	混合 ダブルス55					
	混合 ダブルス60					
	混合 ダブルス65					
	混合 ダブルス70					
	小計				0	

10	9~12	第75回 国民体育大会	少年男子	鹿児島県鹿児島市	中止
			少年女子	東開庭球場	
			成年男子		
			成年女子		
			小計		
	23~25	第75回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	男子ダブルス	愛知県一宮市	中止
			女子ダブルス	一宮市テニス場	
			小計		
	30~1	第34回 日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	194
			女子団体	福知山市三段池公園テニスコート	72
			小計		266
			31・1	第27回 全日本クラブ選手権大会	男子団体
	女子団体	千葉県白子町サニーテニスコート			175
	小計				882

11	27～30	第15回 ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合公園	中止
			女子シングルス(U-14)		
			男子シングルス(U-17)		
			女子シングルス(U-17)		
			男子シングルス(U-20)		
			女子シングルス(U-20)		
			男子ダブルス(U-14)		
			女子ダブルス(U-14)		
			男子ダブルス(U-17)		
			女子ダブルス(U-17)		
			男子ダブルス(U-20)		
			女子ダブルス(U-20)		
			小計	0	
12	10～13	第38回 日本リーグ	男子団体	愛知県豊田市	59
			女子団体	スカイホール豊田	62
			小計		121
	26・27	日本リーグ入替戦	男子団体	広島県福山市	24
			女子団体	エフビコアリーナふくやま	22
			小計		46
2	7	第66回 全日本インドア選手権大会	男子ダブルス	大阪府大阪市	中止
			女子ダブルス	大阪市中央体育館	
			小計	0	
3	13・14	第1回 平和カップひろしま国際大会	男子団体	広島県広島市	607
			女子団体	広島翔洋テニスコート	330
				広島市中央バレーボール場	
				リョーコーテニスコート	
				南観音テニスコート	
			小計		937
	26～28	第32回 都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市	中止
			女子団体	三重県営サンアリーナ	
			男子ダブルス	伊勢市市営庭球場	
			女子ダブルス		
			男子シングルス		
			女子シングルス		
	28～30	第46回 全日本高校選抜大会	小計		0
			男子団体	愛知県豊田市	288
			女子団体	スカイホール豊田	288
			小計		576
	29～31	第20回 全国小学生大会	男子の部	千葉県白子町	320
			女子の部	千葉県白子町サニーテニスコート	304
			小計		624

〈別表32〉

技術等級認定実績

令和3年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	0	0	2	0	1	9	0	1	13
2 青森県	0	0	0	0	0	0	0	1	12	2	15
3 岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
4 宮城県	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0	7
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	8
6 山形県	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0	6
7 福島県	0	0	0	0	0	0	7	22	26	0	55
8 茨城県	0	0	0	0	2	0	3	18	21	10	54
9 栃木県	0	0	0	0	0	0	1	0	8	2	11
10 群馬県	0	0	0	0	9	0	9	19	31	57	125
11 埼玉県	0	0	1	0	8	0	18	93	79	74	273
12 千葉県	0	0	0	0	2	0	1	0	7	0	10
13 東京都	0	0	2	0	3	0	1	14	0	0	20
14 神奈川県	0	0	1	0	6	0	0	68	7	0	82
15 山梨県	0	0	0	0	3	0	3	27	17	11	61
16 新潟県	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
17 長野県	0	0	0	0	0	0	0	1	11	1,486	1,498
18 富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
19 石川県	0	0	0	0	6	0	1	2	15	4	28
20 福井県	0	0	1	0	0	0	1	10	3	9	24
21 静岡県	0	0	0	0	12	0	0	14	50	0	76
22 愛知県	0	0	0	0	2	0	8	34	17	74	135
23 三重県	0	0	0	0	2	0	0	4	0	2	8
24 岐阜県	0	0	0	0	0	0	2	22	25	8	57
25 滋賀県	0	0	0	0	0	0	8	31	22	0	61
26 京都府	0	0	0	0	2	0	0	8	4	0	14
27 大阪府	0	0	0	0	4	0	1	52	2	0	59
28 兵庫県	0	0	0	0	1	0	5	39	10	7	62
29 奈良県	0	0	0	0	6	0	6	4	1	0	17
30 和歌山県	0	0	0	0	1	0	4	11	23	34	73
31 鳥取県	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	6
32 島根県	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
33 岡山県	0	0	1	0	2	0	12	62	1	0	78
34 広島県	0	0	0	0	1	0	10	24	31	13	79
35 山口県	0	0	1	0	4	0	7	42	8	0	62
36 徳島県	0	0	0	0	0	0	0	9	4	0	13
37 香川県	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
38 愛媛県	0	0	0	0	2	0	0	2	25	31	60
39 高知県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	41	42
40 福岡県	0	0	0	0	1	0	1	4	4	0	10
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
42 長崎県	0	0	2	0	0	0	0	14	2	2	20
43 熊本県	0	0	0	0	0	0	0	25	2	13	40
44 大分県	0	0	1	0	3	0	5	0	7	3	19
45 宮崎県	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
46 鹿児島県	0	0	0	0	0	0	3	1	16	0	20
47 日本学連	0	0	0	0	16	0	8	25	0	5	54
合 計	0	0	10	1	110	0	137	720	502	1,906	3,386
前年度	0	1	84	11	362	17	300	1,246	1,540	2,934	6,495

〈別表33〉

公認審判員認定実績

令和3年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイ ヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規		更新	Jr移行		
1	北海道	1	3	4	8	73	140	171	571	1,781	2,752
2	青森県	1	0	0	6	54	178	59	100	55	453
3	岩手県	1	0	2	9	56	57	127	393	1,000	1,645
4	宮城県	1	0	0	3	28	221	171	469	1,277	2,170
5	秋田県	0	0	0	6	34	48	83	214	657	1,042
6	山形県	0	0	1	3	48	27	73	297	501	950
7	福島県	0	1	0	8	50	63	112	484	1,581	2,299
8	茨城県	1	0	0	2	88	622	84	90	106	993
9	栃木県	1	2	4	6	71	416	65	64	1	630
10	群馬県	0	6	0	2	31	0	117	0	57	213
11	埼玉県	5	5	4	6	171	507	455	671	1,402	3,226
12	千葉県	2	0	2	5	115	471	310	629	1,556	3,090
13	東京都	0	35	0	2	123	120	164	53	0	497
14	神奈川県	0	0	1	0	75	124	94	712	5743	6,749
15	山梨県	1	0	3	4	55	229	61	47	53	453
16	新潟県	1	3	1	5	27	54	47	347	1,805	2,290
17	長野県	1	3	3	3	46	430	114	38	80	718
18	富山県	1	0	0	2	23	278	35	18	16	373
19	石川県	0	0	2	4	19	92	57	193	655	1,022
20	福井県	0	0	0	3	19	94	34	21	32	203
21	静岡県	5	13	5	4	61	99	141	406	2,536	3,270
22	愛知県	0	1	7	4	114	134	285	21	51	617
23	三重県	1	0	0	2	14	26	103	30	0	176
24	岐阜県	0	0	1	5	62	267	55	51	74	515
25	滋賀県	0	0	5	1	4	463	53	42	8	576
26	京都府	3	0	9	0	39	409	90	76	0	626
27	大阪府	2	0	1	0	62	102	131	26	22	346
28	兵庫県	0	0	2	7	165	3	147	2	36	362
29	奈良県	0	0	0	1	38	276	109	22	1	447
30	和歌山県	2	0	2	5	33	0	63	10	1	116
31	鳥取県	0	0	0	5	11	1	25	18	23	83
32	島根県	1	0	0	2	3	267	31	31	0	335
33	岡山県	2	3	1	11	40	631	47	78	54	867
34	広島県	3	0	0	5	31	873	144	42	56	1,154
35	山口県	2	1	0	4	55	410	121	52	161	806
36	徳島県	1	0	0	11	7	161	22	31	35	268
37	香川県	0	0	0	2	9	188	52	58	53	362
38	愛媛県	1	1	1	11	28	8	87	8	45	190
39	高知県	0	0	0	2	9	18	18	2	41	90
40	福岡県	0	1	3	3	53	120	127	34	26	367
41	佐賀県	0	0	2	2	3	0	30	181	702	920
42	長崎県	1	0	1	0	55	53	94	228	697	1,129
43	熊本県	0	0	3	3	7	8	60	373	1,197	1,651
44	大分県	0	1	0	0	39	91	47	138	280	596
45	宮崎県	0	0	2	2	34	152	54	52	115	411
46	鹿児島県	0	1	3	2	43	105	135	38	22	349
47	沖縄県	0	0	0	2	0	0	16	0	0	18
48	日本学連	0	0	0	0	194	0	641	0	0	835
合計		41	80	75	183	2,419	9,036	5,361	7,461	24,594	49,250
前年度		58	62	82	141	4,303	12,386	5,274	8,149	36,068	66,523

〈別表34〉

会員登録集計表(令和2年度)

令和3年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	301	164	1,781	39	503	245	5,036	136	2,521	4	108	1	23	589	10,273
青森県	253	50	495	17	217	89	1,950	40	746	1	18	1	1	198	3,680
岩手県	342	58	837	32	427	121	3,350	65	1,017	1	14	0	6	277	5,993
宮城県	111	85	853	24	461	141	3,178	76	1,731	2	15	3	94	331	6,443
秋田県	246	36	442	19	383	73	1,584	35	654	1	32	0	3	164	3,344
山形県	187	39	474	20	364	68	1,767	39	708	1	0	0	0	167	3,500
福島県	379	71	574	36	459	149	3,716	65	1,072	1	9	0	2	322	6,211
茨城県	554	67	737	24	524	208	6,675	81	1,581	0	0	0	10	380	10,081
栃木県	179	35	644	17	372	105	2,846	49	1,002	0	13	0	9	206	5,065
群馬県	195	43	774	23	545	136	3,875	43	844	0	0	0	3	245	6,236
埼玉県	262	203	3,589	36	935	381	13,371	124	3,362	0	0	0	189	744	21,708
千葉県	609	110	1,650	22	409	289	6,506	117	2,355	1	4	0	24	539	11,557
東京都	127	139	3,006	21	365	104	2,474	160	3,555	1	2	0	92	425	9,621
神奈川県	614	86	942	18	379	351	12,784	128	2,738	0	0	0	7	583	17,464
山梨県	68	50	439	14	212	35	374	30	637	0	0	0	20	129	1,750
新潟県	200	49	672	25	354	147	3,395	60	1,031	1	9	0	5	282	5,666
長野県	154	35	1,169	16	242	116	3,314	61	894	1	7	0	2	229	5,782
富山県	125	23	262	16	258	56	1,330	29	648	0	0	0	4	124	2,627
石川県	56	45	548	20	299	62	2,376	37	1,002	0	0	1	28	165	4,309
福井県	43	31	297	5	133	27	570	15	384	0	0	0	1	78	1,428
静岡県	701	128	1,358	33	702	310	8,808	81	1,316	2	13	3	54	557	12,952
愛知県	199	156	2,449	24	606	189	6,099	139	4,216	0	32	0	6	508	13,607
三重県	96	51	509	14	250	135	4,097	45	1,080	0	0	0	13	245	6,045
岐阜県	56	59	722	28	400	245	3,408	47	1,292	0	3	0	9	379	5,890
滋賀県	87	26	316	14	283	59	606	37	971	0	0	0	2	136	2,265
京都府	122	83	711	15	278	73	1,496	53	1,365	0	0	0	1	224	3,973
大阪府	290	86	1,387	9	174	293	8,781	186	2,560	0	1	0	1	574	13,194
兵庫県	271	81	1,392	22	368	305	11,083	140	3,577	2	37	0	0	550	16,728
奈良県	117	30	789	9	137	60	1,422	26	703	0	0	0	1	125	3,169
和歌山県	199	50	621	17	265	99	2,219	29	656	1	32	0	0	196	3,992
鳥取県	66	34	338	12	111	28	463	20	358	1	14	0	1	95	1,351
島根県	76	41	271	11	193	42	1,000	40	666	1	0	0	0	135	2,206
岡山県	149	58	513	16	239	136	4,826	64	1,654	1	18	1	17	276	7,416
広島県	289	125	1,252	14	182	133	3,330	95	2,237	1	16	0	56	368	7,362
山口県	156	67	1,129	11	309	100	3,466	50	1,294	3	83	1	22	232	6,459
徳島県	150	20	234	8	115	86	1,658	22	416	1	10	0	0	137	2,583
香川県	61	25	339	11	199	51	1,555	27	616	2	13	0	1	116	2,784
愛媛県	127	40	618	11	279	114	2,632	59	925	1	4	0	2	225	4,587
高知県	57	28	313	10	100	26	740	19	304	0	21	0	6	83	1,541
福岡県	628	78	971	16	263	187	5,252	137	2,093	4	55	1	35	423	9,297
佐賀県	215	27	306	16	308	72	1,775	41	703	0	0	0	0	156	3,307
長崎県	419	56	771	17	296	143	3,638	99	1,478	2	26	0	57	317	6,685
熊本県	418	64	676	18	307	132	3,656	53	1,059	2	21	1	18	270	6,155
大分県	148	58	522	13	207	72	1,424	27	666	0	3	0	10	170	2,980
宮崎県	282	52	408	24	302	136	2,394	38	750	0	0	0	2	250	4,138
鹿児島県	308	94	770	37	357	148	2,585	71	960	2	46	0	5	352	5,031
沖縄県	68	37	509	11	92	34	741	26	333	0	0	2	41	110	1,784
日本学連	3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	23	394	5,525	394	5,560
合 計	10,763	3,073	40,388	885	15,163	6,311	169,625	3,061	62,730	41	702	409	6,408	13,780	305,779
昨年度	11,713	3,235	44,799	913	18,101	6,970	247,103	3,188	79,834	48	933	434	7,591	14,788	410,074

令和2年度表彰者名簿

本部功労者

日本連盟理事	山下 晴海
--------	-------

支部功労者・優良団体

	支部名	支部功労者	支部功労者	優良団体
1	北海道	青山 和恵	佐藤 順一	岩見沢ソフトテニス連盟
2	青森	八島 明彦	滝本 正喜	弘前市役所ソフトテニス部
3	岩手	朝日田 倫明	井上 志津子	盛岡市ソフトテニス協会
4	宮城	齋藤 範夫	島山 真	宮城県仙台第三高等学校ソフトテニス部
5	秋田	河田 好則	渡邊 泰介	美郷ソフトテニスクラブ
6	山形	五十嵐 司	渡辺 勇治	山形地区ソフトテニス連盟
7	福島	由田 營史	猪股 尚文	勿来ジュニアソフトテニススポーツ少年団
8	茨城	大門 俊彦	久松 秀和	霞ヶ浦高等学校
9	栃木	桑木 正	伊藤 武	足利ソフトテニス連盟
10	群馬	下山 萬吉雄	飯島 清	スマイリーソフトテニスクラブ
11	埼玉	今村 昌司	佐藤 浩康	埼玉平成高校女子ソフトテニス部
12	千葉	田嶋 啓子	飯田 純一	
13	東京	川口 さつき	緒方 幹夫	谷河内倶楽部
14	神奈川	林 良雄	内田 一郎	日本大学藤沢高等学校
15	山梨	矢崎 守仁		新星クラブ
16	新潟	梅澤 守	坂井 真琴	巻ジュニアソフトテニスクラブ
17	長野	林 美代子		
18	富山	松本 慎之介	恒田 浩	
19	石川	西村 孝子	青木 崇	
20	福井	長谷川 昌樹	高橋 直樹	三国ジュニアソフトテニスクラブ
21	静岡	市川 広邦	高橋 一	竜南クラブ
22	愛知	山本 悦子	豊田 雅孝	千種クラブ
23	三重	福廣 忠則	水野 裕介	
24	岐阜	仙石 定光	田中 寛嗣	チームTAKA
25	滋賀	清水 明代	黒川 敏也	伊香ソフトテニス協会
26	京都	小林 静雄	小畑 学	京都レディースソフトテニス連盟
27	大阪	水口 一也	中森 克明	大正ソフトテニスクラブ
28	兵庫	角田 素子	若林 博之	明石レディース
29	奈良	中井 基雄	三村 明子	宇陀市立榛原中学校ソフトテニス部
30	和歌山	濱田 正一	住岡 篤	和歌浦ソフトテニスクラブ
31	鳥取	牧田 英治	加藤 一	
32	島根			
33	岡山	荒川 周一郎	村上 洋之	笠岡市ソフトテニスクラブ
34	広島	上崎 博	河下 寿昭	原体協
35	山口	梅本 講司	高岡 浩行	宇部工OB会
36	徳島	新田 貴徳	山田 拓未	美馬市体育協会
37	香川	大塚 章司		尽誠学園高等学校
38	愛媛	近藤 直		松山市ソフトテニス連盟
39	高知	池 啓伸	黒岩 哲幸	香南市立野市中学校 女子ソフトテニス部
40	福岡			ジュニアソフトテニスクラブ からすでんぐ
41	佐賀	高島 祐秀	竹崎 幸一	
42	長崎	金子 正剛	立川 法子	
43	熊本	淋 憲治	今塩屋 みき子	
44	大分	奥村 章二	阿南 哲二	明豊高等学校 ソフトテニス部
45	宮崎	山村 郁代	中武 眞由美	延岡学園高等学校 男女 ソフトテニス部
46	鹿児島	中拂 太一	野間 卓	垂水キッズSTスポーツ少年団
47	沖縄	仲村 渠 健	浅井 康史	玉城クラブ
48	日本学連			
49	高体連	山本 真司	松森 泰洋	和歌山信愛高等学校ソフトテニス部 (女子)
50	中体連			
合計		88名		38団体

(敬称略)

《別冊》

役員・職員等に関する名簿

【名誉会長・名誉副会長・顧問・参与】

〔名誉会長〕 海部 俊樹
 〔顧問〕 内田 昌一 笠井 達夫 北村 和久 小原 信幸 西村 信寛
 本田 茂雄

〔参与〕 重田 衛 柳田 昌作 水野 明人 米山 勉 田淵 光仁
 川島 登 高松 政男 丹崎 健一 中山 昌作 西田 豊明
 宮下 恭子 柳下 秋久 山本 毅 吉田 博紀

(令和3年3月31日現在)

【理事・監事】

1. 令和2年定時評議員会終結時まで

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	安道 光二	理 事	越智 朗
副 会 長	笠井 達夫		川島 登
副 会 長	津田 誠		川西 斎
副 会 長	星野 博		神崎 公宏
専務理事	野際 照章		木原 晴彦
常務理事	安藤 正美		篠 邊 保
	北本 英幸		佐藤 健司
	丹崎 健一		白水 厚二
理 事	足立 真一		山下 晴海
	石川 雅利		和歌浦 京子
	井上 光子	監 事	井上 清一
	上山 親子		鈴木 正彦
	大房 裕司		山本 毅

※平成30(2018)年6月10日より令和2(2020)年定時評議員会(6月28日)終結時まで

2. 令和2年定時評議員会終結時より令和4年定時評議員会終結時まで

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	安道 光二	理 事	越智 朗
副 会 長	津田 誠		加藤 育広
副 会 長	星野 博		川西 斎
副 会 長	萬 正一		神崎 公宏
専務理事	野際 照章		木原 晴彦
常務理事	安藤 正美		篠 邊 保
	北本 英幸		白水 厚二
	佐藤 健司		松田 孝志
理 事	足立 真一		山下 晴海
	石川 雅利		和歌浦 京子
	井上 光子	監 事	井上 清一
	上山 親子		斉藤 元三
	大房 裕司		宮田 勤

※令和2(2020)年定時評議員会(6月28日)終結時より令和4(2022)年定時評議員会終結時まで

【評議員】

1. 令和2年定時評議員会終結時まで

運上 琢論(北海道)	新保 俊彦(青 森)	宮田 勤(岩 手)
松田 孝志(宮 城)	加藤 育広(秋 田)	柏倉 達雄(山 形)
小野間 幸一(福 島)	額賀 富雄(茨 城)	木所 一典(栃 木)
佐藤 栄一(群 馬)	中村 進(埼 玉)	堀越 浩(千 葉)
横山 隆二(東 京)	鈴木 敏雄(神奈川)	向山 淳(山 梨)
国島 孝志(新 潟)	原 雅幸(長 野)	高辻 則夫(富 山)
永井 茂樹(石 川)	川畑 茂(福 井)	小林 正(静岡県)
澤田 康彦(愛 知)	天野 晴夫(三 重)	安藤 清(岐 阜)
金井 豊(滋 賀)	増木 博一(京 都)	友谷 往弘(大 阪)
森田 賢二(兵 庫)	西森 卓也(奈 良)	花田 一弥(和歌山)
安東 健司(鳥 取)	大地本 一到(島 根)	小野 尚彦(岡 山)
大前 秀樹(広 島)	弘中 基之(山 口)	岸本 正文(徳 島)
木下 恵司(香 川)	越智 克昌(愛 媛)	横江 忠志(高 知)
湯田 純孝(福 岡)	公門 武敏(佐 賀)	金子 正剛(長 崎)
岩下 敏和(熊 本)	福田 茂(大 分)	當瀬 純一(宮 崎)
辛島 康明(鹿児島)	宮城 正彦(沖 縄)	宮崎 正己(日本学連)
落合 護(高体連)	平野 富靖(中体連)	

※平成28(2016)年定時評議員会(6月12日)終結時より令和2(2020)年定時評議員会(6月28日)終結時まで

2. 令和2年定時評議員会終結時より令和6年定時評議員会終結時まで

運上 琢論(北海道)	新保 俊彦(青 森)	内藤 真一(岩 手)
鍵 紀代子(宮 城)	東海林 裕晴(秋 田)	柏倉 達雄(山 形)
小野間 幸一(福 島)	額賀 富雄(茨 城)	木所 一典(栃 木)
佐藤 栄一(群 馬)	中村 進(埼 玉)	堀越 浩(千 葉)
横山 隆二(東 京)	鈴木 敏雄(神奈川)	米山 隆(山 梨)
国島 孝志(新 潟)	原 雅幸(長 野)	高辻 則夫(富 山)
永井 茂樹(石 川)	川畑 茂(福 井)	小林 正(静岡県)
澤田 康彦(愛 知)	天野 晴夫(三 重)	安藤 清(岐 阜)
金井 豊(滋 賀)	増木 博一(京 都)	友谷 往弘(大 阪)
森田 賢二(兵 庫)	西森 卓也(奈 良)	花田 一弥(和歌山)
安東 健司(鳥 取)	大地本 一到(島 根)	小野 尚彦(岡 山)
大前 秀樹(広 島)	弘中 基之(山 口)	毛利 喜信(徳 島)
荒井 隆(香 川)	越智 克昌(愛 媛)	横江 忠志(高 知)
湯田 純孝(福 岡)	公門 武敏(佐 賀)	金子 正剛(長 崎)
岩下 敏和(熊 本)	福田 茂(大 分)	當瀬 純一(宮 崎)
辛島 康明(鹿児島)	宮城 正彦(沖 縄)	荻野 栞(日本学連)
石岡 重光(高体連)	上田 竜次(中体連)	

※令和2(2020)年定時評議員会(6月28日)終結時より令和6(2024)年定時評議員会終結時まで

【顧問弁護士】 鈴木 孝雄 氏

【公認会計士】 櫻井 資悦 氏

【税理士】 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

※令和3年3月31日現在

【専門委員会・部会】

1. 令和2年定時評議員会終結時まで

委員会・部会			氏 名	所属加盟団体	
総務委員会		委員長	石川 雅利	千葉	
		副委員長	木原 晴彦	広島	
		委員	浅川 陽介	東京	
		委員	安藤 正美	香川	
		委員	大地本 一到	島根	
		委員	北本 英幸	石川	
		委員	丹崎 健一	東京	
	企画部会	部会長	加藤 育広	秋田	
		副部会長	山下 晴海	埼玉	
		委員	石川 雅利	千葉	
		委員	運上 琢諭	北海道	
		委員	榎並 紳吉	東京	
		委員	香川 翔	香川	
		委員	篠原 秀典	東京	
		委員	清水 諭	茨城	
		委員	永井 茂樹	石川	
		委員	星 祥子	千葉	
		委員	松田 恵示	東京	
		委員	脇田 愛	神奈川	
		会員登録制度部会	部会長	越智 朗	愛媛
	副部会長		森田 賢二	兵庫	
	委員		井上 光子	千葉	
	委員		宮田 勤	岩手	
	IT部会	部会長	天野 晴夫	三重	
		副部会長	和歌浦 京子	新潟	
		委員	小野 尚彦	岡山	
		委員	木下 恵司	香川	
審判委員会		委員長	木原 晴彦	広島	
		副委員長	佐藤 健司	東京	
		委員	小田 宗雄	熊本	
		委員	越智 朗	愛媛	
		委員	川島 裕和	石川	
		委員	田村 忠士	広島	
		委員	牧 壮一	愛知	
		委員	増木 博一	京都	
		委員	森 純	宮城	
競技委員会		委員長	安藤 正美	香川	
		副委員長	佐藤 健司	東京	
		委員	岩下 敏和	熊本	
		委員	成田 扶美代	大阪	
		委員	吉田 茂	福島	
		プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久	埼玉
			副部会長	佐藤 健司	東京
			委員	安達 和紀	鳥取

委員会・部会			氏 名	所属加盟団体	
		委員	石坂 欣也	東京	
		委員	井上 まゆ美	東京	
		委員	上山 親子	大阪	
		委員	小笠原 浩二	東京	
		委員	越智 朗	愛媛	
		委員	小野 道康	新潟	
		委員	小俣 三男	埼玉	
		委員	織原 真由美	東京	
		委員	川口 さつき	東京	
		委員	木所 一典	栃木	
		委員	黒瀬 麗子	静岡	
		委員	芝地 康幸	兵庫	
		委員	東海林 裕晴	秋田	
		委員	中野 吉広	東京	
		委員	成島 厚子	東京	
		委員	西木 宏	徳島	
		委員	藤原 芳子	東京	
		委員	山口 眞護	東京	
		等級制度部会	部会長	岡村 勝幸	山梨
			副部会長	白水 厚二	大分
	委員		荒井 隆	香川	
	委員		上山 親子	大阪	
	委員		佐藤 栄一	群馬	
強化委員会		委員長	北本 英幸	石川	
		副委員長	神崎 公宏	三重	
		委員	小野寺 剛	東京	
		委員	川上 晃司	兵庫	
		委員	篠邊 保	愛知	
		委員	田中 弘	東京	
		強化スタッフ部会	部会長	神崎 公宏	三重
			副部会長	北本 英幸	石川
			委員	伊加 英隆	香川
			委員	池田 征弘	京都
			委員	斉藤 広宣	千葉
			委員	高井 志保	大阪
委員	田中 弘		東京		
委員	中堀 成生		広島		
委員	橋本 康德		京都		
委員	堀 晃大		広島		
指導委員会		委員長	篠邊 保	愛知	
		副委員長	井田 博史	東京	
		委員	浅川 陽介	東京	
		委員	安達 和紀	鳥取	
		委員	小野寺 剛	東京	
		委員	北本 英幸	石川	
		委員	高井 志保	大阪	
		委員	玉井 俊光	和歌山	

委員会・部会			氏 名	所属加盟団体
		委員	松元 誠二	福岡
生涯スポーツ委員会		委員長	川西 斎	奈良
		副委員長	白水 厚二	大分
		委員	川島 登	福島
		委員	椎名 顕子	愛媛
		委員	普天間 富士子	沖縄
	小学生部会	部会長	長岡 敏久	埼玉
		副部会長	和歌浦 京子	新潟
		委員	宇野 一行	愛媛
		委員	友谷 往弘	大阪
		委員	畠山 洋二	広島
		委員	花園 安紀	東京
		委員	広島 義清	北海道
		委員	渡瀬 義正	静岡
		委員	中村 正広	福岡
		シニア部会	部会長	白水 厚二
	副部会長		石川 雅利	千葉
	委員		鍵 茂	宮城
	委員		横野 久美子	愛知
	国際委員会		委員長	丹崎 健一
副委員長			角田 光央	東京
委員			赤須 由佳	三重
委員			蒲原 英敏	広島
委員			木原 晴彦	広島
委員			関川 丈彦	新潟
委員			玉木 進	東京
委員			藤島 淑子	神奈川
委員			松井 愛美	神奈川
広報委員会		委員長	山下 晴海	埼玉
		副委員長	皆呂 充亮	東京
		委員	上山 親子	大阪
		委員	大野 勝敏	埼玉
		委員	工藤 聡子	青森
		委員	佐藤 成敏	岩手
		委員	田中 和雄	広島
		委員	萩原 廣一	神奈川
	機関誌編集部会	部会長	井上 光子	千葉
		副部会長	赤井 宏司	東京
		委員	臼田 弘	千葉
		委員	鬼束 二三江	神奈川
		委員	近藤 貴予	東京
医科学委員会		委員長	山本 裕二	愛知
		副委員長	川西 斎	奈良
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	工藤 敏巳	宮城
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	守重 昌彦	東京

委員会・部会			氏 名	所属加盟団体
	医学部会	部会長	守重 昌彦	東京
		副部会長	丹崎 健一	東京
		委員	今井 愛	神奈川
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	川野 因	神奈川
		委員	出家 正隆	愛知
		委員	永井 博典	東京
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	藤本 陽	静岡
		委員	目加田 優子	東京
		委員	山田 隆	東京
		アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子
	副部会長		井上 光子	千葉
	委員		井田 博史	東京
	委員		梶山 祥子	広島
	委員		上遠野 久美	福島
	委員		玉木 進	東京
	委員		永井 博典	東京
	委員		守重 昌彦	東京
	トレーナー部会	部会長	川上 晃司	兵庫
		副部会長	川西 斎	奈良
		委員	東 知宏	北海道
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	兼平 智孝	宮城
		委員	工藤 梨乃	兵庫
		委員	桑原 亜香音	神奈川
		委員	小亀 裕美	兵庫
		委員	阪根 ちひろ	京都
		委員	高川 亜紀	広島
		委員	田中 京介	熊本
		委員	中野 道治	大阪
		委員	永野 康治	東京
		委員	深間内 誠	三重
委員		吉川 友巳奈	京都	
スポーツ科学部会	部会長	工藤 敏巳	宮城	
	副部会長	川島 登	福島	
	委員	井田 博史	東京	
	委員	緒方 貴浩	東京	
	委員	川上 晃司	兵庫	
	委員	篠原 秀典	東京	
	委員	永野 康治	東京	
	委員	福原 和伸	神奈川	
	委員	水野 哲也	千葉	
	委員	村山 孝之	石川	
	委員	山本 裕二	愛知	
	競技者資格委員会		委員長	安道 光二
副委員長			野際 照章	京都

委員会・部会		氏 名	所属加盟団体	
	委員	笠井 達夫	神奈川	
	委員	津田 誠	愛知	
	委員	星野 博	東京	
	委員	安藤 正美	香川	
倫理委員会	委員長	笠井 達夫	神奈川	
	副委員長	野際 照章	京都	
	委員	星野 博	東京	
	委員	津田 誠	愛知	
	委員	石川 雅利	千葉	
	委員	安藤 正美	香川	
指導基本規程違反救済審査委員会	委員長	鈴木 孝雄	神奈川	
	副委員長	野際 照章	京都	
	委員	金子 知行	千葉	
	委員	林 昭文	東京	
	委員	大槻 麗	福島	
競技者育成プログラム推進委員会	委員長	野際 照章	京都	
	副委員長	篠邊 保	愛知	
	委員	安達 和紀	鳥取	
	委員	井上 創	兵庫	
	委員	井上 光子	千葉	
	委員	大房 裕司	中体連	
	委員	北本 英幸	石川	
	委員	木下 恵司	香川	
	委員	小林 幸司	東京	
	委員	白幡 光	山形	
	委員	足立 真一	高体連	
	委員	林 三千夫	和歌山	
	委員	渕野 ひかる	佐賀	
	委員	松浦 誠	宮崎	
	マネージメント部会	部会長	井上 創	兵庫
		副部会長	越智 朗	愛媛
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	岩下 敏和	熊本
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	越智 克昌	愛媛
		委員	千葉 英明	宮城
		委員	手嶋 信彦	広島
		委員	溝渕 俊二	和歌山
		委員	山田 浩一	石川
用具・用品・施設委員会	委員長	野際 照章	京都	
	副委員長	安藤 正美	香川	
	委員	運上 琢諭	北海道	
	委員	神崎 公宏	三重	
	委員	木原 晴彦	広島	
	委員	重平 静洋	大阪	
環境・教育プロジェクト	委員長	川島 登	福島	
	副委員長	丹崎 健一	東京	

委員会・部会		氏 名	所属加盟団体
	委員	岡村 勝幸	山梨
	委員	白水 厚二	大分
	委員	新保 俊彦	青森
	委員	林 研一	熊本
	委員	和歌浦 京子	新潟
中学生対策プロジェクト	委員長	大房 裕司	中体連
	副委員長	篠邊 保	愛知
	委員	安藤 正視	東京
	委員	岸本 正文	徳島
	委員	高橋 茂	東京
	委員	足立 真一	高体連
	委員	山下 晴海	埼玉
高校生対策プロジェクト	委員長	足立 真一	高体連
	副委員長	山下 晴海	埼玉
	委員	上山 親子	大阪
	委員	大槻 範和	長崎
	委員	大房 裕司	中体連
	委員	川西 斎	奈良
	委員	土居 大語	高知
	委員	根本 光泰	宮城
大学生対策プロジェクト	委員長	神崎 公宏	三重
	副委員長	宮崎 正己	学連
	委員	北本 英幸	石川
	委員	佐藤 健司	東京
	委員	佐藤 順一	学連
	委員	田中 克彦	学連
資産取得プロジェクト	委員長	野際 照章	京都
	副委員長	神崎 公宏	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	加藤 育広	秋田
	委員	斉藤 広宣	千葉
	委員	當瀬 純一	宮崎

2. 令和3年3月31日現在

委員会・部会	職	氏名	所属
総務委員会	委員長	石川 雅利	千葉
	副委員長	天野 晴夫	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	佐藤 健司	東京
	委員	大地本 一到	島根
	委員	運上 琢諭	北海道
	委員	牧野 伸一	京都
企画委員会	委員長	加藤 育広	秋田
	副委員長	大野 勝敏	埼玉
	委員	清水 諭	茨城
	委員	松田 恵示	東京
	委員	星 祥子	千葉
	委員	田中 剛	東京
	委員	榎並 紳吉	東京
	委員	脇田 愛	神奈川
	委員	香川 翔	香川
財務委員会	委員長	木原 晴彦	広島
	副委員長	櫻井 資悦	千葉
	委員	白水 厚二	大分
	委員	多田 光廣	香川
	委員	小川 信也	岐阜
	委員	加藤 勉	栃木
	委員	栗原 博	埼玉
審判委員会	委員長	木原 晴彦	広島
	副委員長	牧 壮一	愛知
	委員	越智 朗	愛媛
	委員	佐藤 鉄太郎	宮城
	委員	片岡 勝	青森
	委員	木下 道夫	東京
	委員	川島 裕和	石川
	委員	増木 博一	京都
	委員	田村 忠士	広島
	委員	小田 宗雄	熊本
競技委員会	委員長	安藤 正美	香川
	副委員長	岩下 敏和	熊本
	委員	吉田 茂	福島
	委員	小脇 静香	千葉
	委員	大津 竜二	愛知
	委員	小野 道康	新潟
	委員	成田 扶美代	大阪
	委員	吉田 敏彦	岡山
	委員	正岡 義晶	愛媛

委員会・部会		職	氏名	所属
	等級制度部会	部会長	岡村 勝幸	山梨
		副部会長	白水 厚二	大分
		委員	上山 親子	大阪
		委員	松田 孝志	宮城
		委員	荒井 隆	香川
	プログラム編成部会	部会長	佐藤 健司	東京
		副部会長	木所 一典	栃木
		アドバイザー	長岡 敏久	埼玉
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	東海林 裕晴	秋田
		委員	芝地 康幸	兵庫
		委員	西木 宏	徳島
		委員	安達 和紀	鳥取
		委員	小野 道康	新潟
		委員	黒瀬 麗子	静岡
		委員	石坂 欣也	東京
		委員	小笠原 浩二	東京
		委員	織原 真由美	東京
		委員	川口 さつき	東京
		委員	中野 吉広	東京
		委員	成島 厚子	東京
		委員	山口 眞護	東京
強化委員会		委員長	北本 英幸	石川
		副委員長	神崎 公宏	三重
		委員	篠邊 保	愛知
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	高井 志保	大阪
	強化スタッフ部会	部会長	神崎 公宏	三重
		副部会長	北本 英幸	石川
		委員	中堀 成生	広島
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	堀 晃大	広島
		委員	伊加 英隆	香川
		委員	池田 征弘	京都
		委員	佐藤 英宣	愛知
		委員	橋本 康德	京都
		委員	松崎 法夫	福島
	競技者育成プログラム部会	部会長	篠邊 保	愛知
		副部会長	白幡 光	山形
		副部会長	井上 創	兵庫
		委員	北本 英幸	石川
		委員	足立 真一	静岡
		委員	大房 裕司	東京
		委員	井上 光子	千葉

委員会・部会		職	氏名	所属
		委員	安達 和紀	鳥取
		委員	松浦 誠	宮崎
		委員	小林 幸司	東京
		委員	木下 恵司	香川
		委員	林 三千夫	兵庫
		委員	千葉 英明	宮城
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	小峯 秋二	富山
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	溝渕 俊二	和歌山
		委員	手嶋 信彦	広島
		委員	越智 克昌	愛媛
		委員	岩下 敏和	熊本
		指導者育成委員会		委員長
副委員長	井田 博史			東京
委員	北本 英幸			石川
委員	井上 光子			千葉
委員	小野寺 剛			東京
委員	玉井 俊光			和歌山
委員	高井 志保			大阪
委員	浅川 陽介			東京
生涯スポーツ委員会		委員長	川西 斎	奈良
		副委員長	和歌浦 京子	新潟
		委員	松田 孝志	宮城
		委員	椎名 顕子	愛媛
		委員	普天間 富士子	沖縄
	小学生部会	部会長	長岡 敏久	埼玉
		副部会長	和歌浦 京子	新潟
		委員	石川 雅利	千葉
		委員	上山 親子	大阪
		委員	廣島 義清	北海道
		委員	花園 安紀	東京
		委員	友谷 往弘	大阪
		委員	宇野 一行	愛媛
		委員	渡瀬 義正	静岡
		委員	畠山 洋二	広島
	委員	中村 正広	福岡	
	シニア部会	部会長	白水 厚二	大分
		副部会長	石川 雅利	千葉
		委員	鍵 茂	宮城
		委員	横野 久美子	愛知
広報委員会		委員長	山下 晴海	埼玉
		副委員長	越智 朗	愛媛
		委員	工藤 聡子	青森
		委員	田中 和雄	広島

委員会・部会		職	氏名	所属	
		委員	萩原 廣一	神奈川	
		委員	上野 渉	石川	
		委員	崎田 勝	鹿児島	
		委員	黒瀬 麗子	静岡	
	機関誌部会	部会長	井上 光子	千葉	
		副部会長	臼田 弘	千葉	
		委員	古川 忠志	千葉	
		委員	近藤 貴予	東京	
		委員	鬼束 二三江	神奈川	
		委員	井上 まゆ美	東京	
		委員	原 美香	神奈川	
	会員登録委員会		委員長	越智 朗	愛媛
			副委員長	森田 賢二	兵庫
委員			井上 光子	千葉	
委員			白水 厚二	大分	
委員			鳥羽 敬子	三重	
中学生部会			部会長	大房 裕司	東京
			副部会長	高橋 茂	東京
			委員	足立 真一	静岡
			委員	和歌浦 京子	新潟
			委員	安藤 正規	東京
			委員	岸本 正文	徳島
			委員	木所 一典	栃木
高校生部会			部会長	足立 真一	静岡
			副部会長	大槻 範和	長崎
			委員	川西 斎	奈良
			委員	大房 裕司	東京
			委員	根本 光泰	宮城
			委員	石岡 重光	京都
大学生部会	部会長	神崎 公宏	三重		
	副部会長	佐藤 順一	北海道		
	委員	北本 英幸	石川		
	委員	今野 優子	宮城		
	委員	佐野 寛	大阪		
	委員	村山 孝之	石川		
国際委員会		委員長	角田 光央	東京	
		副委員長	玉木 進	東京	
		アドバイザー	丹崎 健一	東京	
		委員	木原 晴彦	広島	
		委員	蒲原 英敏	広島	
		委員	関川 丈彦	新潟	
		委員	藤島 淑子	神奈川	
		委員	井田 博史	東京	
		委員	小林 拓磨	愛媛	

委員会・部会		職	氏名	所属
医科学委員会		委員長	山本 裕二	愛知
		副委員長	川西 斎	奈良
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	川上 晃司	兵庫
	医学部会	部会長	守重 昌彦	東京
		副部会長	佐藤 健司	東京
		委員	出家 正隆	愛知
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	山田 隆	東京
		委員	目加田 優子	東京
		委員	今井 愛	神奈川
		委員	藤本 陽	静岡
		委員	國友 耕太郎	熊本
		委員	植田 由衣	千葉
		委員	小久保 友貴	愛知
	アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子	神奈川
		副部会長	加藤 育広	秋田
		委員	井田 博史	東京
		委員	上遠野 久美	福島
		委員	玉木 進	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	永井 博典	東京
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	神保 綾	埼玉
		委員	尹 美帆	滋賀
		委員	鳥山 司	福岡
	トレーナー部会	部会長	川上 晃司	大阪
		副部会長	川西 斎	奈良
		委員	東 知宏	北海道
		委員	工藤 梨乃	兵庫
		委員	桑原 亜香音	神奈川
		委員	阪根 ちひろ	京都
		委員	深間内 誠	三重
		委員	高川 亜紀	広島
		委員	中野 道治	大阪
		委員	小亀 裕美	兵庫
		委員	兼平 智孝	宮城
		委員	土井内 友巳奈	京都
		委員	田中 京介	熊本
		委員	永野 康治	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	市山 裕梨	大阪
		委員	溝口 英二	大阪

委員会・部会		職	氏名	所属
		委員	北村 塁	北海道
		委員	来住野 麻美	東京
	スポーツ科学部会	部会長	山本 裕二	愛知
		副部会長	上山 親子	大阪
		委員	井田 博史	東京
		委員	緒方 貴博	東京
		委員	永野 康治	東京
		委員	福原 和伸	神奈川
		委員	水野 哲也	千葉
		委員	村山 孝之	石川
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	高橋 和孝	神奈川
		ICTシステム委員会		委員長
		副委員長	天野 晴夫	三重
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	高橋 強	福島
		委員	小野 尚彦	岡山
		委員	友光 亜希子	埼玉
環境・教育委員会		委員長	上山 親子	大阪
		副委員長	加藤 育広	秋田
		委員	和歌浦 京子	新潟
		委員	松田 孝志	宮城
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	新保 俊彦	青森
		委員	林 研一	熊本
用具・用品・施設委員会		委員長	佐藤 健司	東京
		副委員長	安藤 正美	香川
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	鈴木 敏雄	神奈川
指導基本規程違反救済審査委員会		委員長	鈴木 孝雄	神奈川
		副委員長	野際 照章	京都
		委員	霊池 恵量	愛知
		委員	林 昭文	東京
		委員	石井 友梨	京都
倫理・コンプライアンス委員会		委員長	宇野 治	滋賀
		副委員長	野際 照章	京都
		委員	佐藤 健司	東京
		委員	清水 諭	茨城
		委員	櫻井 資悦	千葉
		委員	高梨 憲爾	神奈川
		委員	運上 琢諭	北海道
危機管理委員会		委員長	北本 英幸	石川
		副委員長	石川 雅利	千葉
		委員	篠邊 保	愛知

委員会・部会	職	氏名	所属
	委員	越智 朗	愛媛
	委員	佐藤 栄一	群馬
	委員	重平 静洋	岡山
	委員	小野間 幸一	福島
	委員	中元 正人	熊本
アスリート委員会	委員長	浅川 陽介	東京
	副委員長	村山 孝之	石川
	委員	加藤 育広	秋田
	委員	足立 真一	静岡
	委員	大庭 彩加	鹿児島
	委員	黒木 瑠璃華	東京
競技者資格委員会	委員長	野際 照章	京都
	副委員長	神崎 公宏	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	木原 晴彦	広島
	委員	柏倉 達雄	山形
	委員	永井 茂樹	石川

【事務局】

事務局長 荒木 朋子
 職 員 大八木 洋子 堀内 大 清水 望 佐藤 成敏 本間 哲
 常勤嘱託職員 渡部 誠之
 （令和3年3月31日現在）